

第6章 環境リーダーとくしま

第1節 関西広域連合などの広域的な環境保全対策

1 現状と課題

2010年12月に発足した関西広域連合に本県も構成メンバーとして参加しており、広域環境保全分野でも「温室効果ガス削減のための広域取組」、「府県を超えた鳥獣保護管理の取組」、「関西広域環境保全計画の策定・推進」など、関西広域連合のスケールメリットを活かした広域的な取組を展開しています。



また、四国4県においても「四国地球温暖化対策推進連絡協議会」において連携した普及・啓発活動に取り組み、また「四国地域エネルギー・温暖化対策推進会議」による産学民官での取組みなども推進しています。

このように、環境問題の中には、府県市の枠を超えて広域的な取組を進めることで、より高い効果が得られることもあり、本県ではこうした広域的に連携した取組を進めているところです。

2 連携した取組み

(1) 関西広域連合(広域環境保全局)における取組み

平成23年に策定した「関西広域環境保全計画」に基づき、府県域を超えて様々な取組を展開しています。

○関西広域環境保全計画

この計画は、西暦2030年の「関西のあるべき姿」を見据え「関西を環境先進地域とする」ことを目指す平成24年度から28年度までの5カ年の計画です。

計画期間を第1フェーズ(前期2年間)と第2フェー

ズ(後期3年間)に分け、第1フェーズでは当面実施する施策、第2フェーズでは順次拡充する施策を展開します。

(施策の方向性)

- ・低炭素社会づくり(地球温暖化対策)
- ・自然共生型社会づくり(生態系保全)
- ・循環型社会づくり(資源循環対策)
- ・安全・安心で歴史と文化の魅力あるまちづくり(生活環境等の保全)
- ・持続可能な社会を担う人育て(環境学習の推進)

(取組みの例)

○カーボン・オフセットに関する施策

事業者や地域住民などが自らの努力で削減できない温室効果ガス排出量を、排出削減・吸収に関するクレジットの購入などで埋め合わせる「カーボン・オフセット制度」について、制度の普及・クレジットの広域活用に向けた検討などに取り組んでいます。



へらそかCO2: 試行的な共通ラベルの添付

○カワウ対策

広域的に移動し被害を与えているカワウについて、モニタリング調査等を踏まえた「カワウ広域保護管理計画」を策定し、広域実施で効果のある被害対策等を推進しています。



カワウ



テグス張り

○エコポイント事業(関西スタイルのエコポイント)

○住民・事業者への普及啓発(関西エコスタイルの推進や関西エコオフィス宣言事業者の募集など)

○電気自動車やハイブリッド車の普及(充電インフ

ラマップの作成など)

○自然エネルギーの普及の積極的な導入推進など

この広域環境保全局関係以外でも、本県は構成府県市と連携した広域的な取組を展開しています。例えば、東日本大震災以降の全国的な電力不足の状況に対応するため、構成府県市が統一的に節電行動の呼びかけや、夏の場合は、クールシェア（家族でおでかけ節電キャンペーン）の取組み等を展開しています。



節電ポスター おでかけキャンペーン

(2) 四国4県の連携した取組み

四国4県では、連携事業として「四国地球温暖化対策推進連絡協議会」において、県民の節電・省エネ意識の醸成を図るため、ポスター図案を公募するなど、4県が連携した温暖化対策を展開しています。



ウォームビズ・クールビズポスター

また、「四国圏カーボン・オフセット推進協議会」において、カーボン・オフセットの普及推進に向けた取組も実施しています。

(3) 関西・四国の中の徳島

○産業廃棄物収集運搬車両の合同検問の実施

兵庫県と連携し、大鳴門橋を挟んだ淡路側と鳴門側のインターチェンジ出入口付近で、産業廃棄物収集運搬車両の合同検問を実施しました。